【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和5年7月31日(2023.7.31)

【公開番号】特開2021-38379(P2021-38379A)
【公開日】令和3年3月11日(2021.3.11)
【年通号数】公開・登録公報2021-013
【出願番号】特願2020-132209(P2020-132209)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　9/00(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　5/18(2006.01)
Ｈ０１Ｍ50/409(2021.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　9/00　　Ａ
Ｃ０８Ｊ　5/18　　ＣＥＳ
Ｈ０１Ｍ　2/16　　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】令和5年7月21日(2023.7.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
空孔率が５０％以上であり、膜厚１０μｍ換算の突刺強度が３．７Ｎ以上であり、長手方向の引張弾性率ＥＭＤが９８０ＭＰａ以上であることを特徴とする多孔性ポリオレフィンフィルム。
【請求項２】
ＥＭＤおよび幅方向の引張弾性率ＥＴＤについて、ＥＭＤ／ＥＴＤが１．０以上である、請求項１に記載の多孔性ポリオレフィンフィルム。
【請求項３】
長手方向の引張強度ＭＭＤが１８０ＭＰａ以上である、請求項１または２のいずれかに記載の多孔性ポリオレフィンフィルム。
【請求項４】
平均孔径が１０ｎｍ以上１４０ｎｍ以下である、請求項１～３のいずれかに記載の多孔性ポリオレフィンフィルム。
【請求項５】
最大孔径に対する平均孔径の比（平均孔径）／（最大孔径）が０．７０以上である、請求項１～４のいずれかに記載の多孔性ポリオレフィンフィルム。
【請求項６】
膜厚が１５μｍ以下である、請求項１～５のいずれかに記載の多孔性ポリオレフィンフィルム。
【請求項７】
ポリエチレンを主成分とする、請求項１～６のいずれかに記載の多孔性ポリオレフィンフィルム。
【請求項８】
フィルムの、重量による分子量分布において、分子量１．０×１０６以上のポリオレフィン成分の含有量が３５質量％以上である、請求項１～７のいずれかに記載の多孔性ポリオ

レフィンフィルム。
【請求項９】
請求項１～８のいずれかに記載の多孔性ポリオレフィンフィルムを用いたことを特徴とする電池用セパレータ。
【請求項１０】
請求項９に記載の電池用セパレータを用いたことを特徴とする二次電池。